

ご協賛申込 締切 11/30(月)

協賛講演 4枠限定

DIAMOND
Quarterly

創刊 **10** 周年記念 エグゼクティブ・セミナー

日本のモノづくり AI×データで勝ち抜けるか (仮)

世界にとってなくてはならない存在になる
「メイド・ウィズ・ジャパン」への超進化

主催：ダイヤモンド社 ブランディング事業局

2027年
3月中旬 (調整中)

会場：東京會館 (東京・丸の内)

参加者数：

50名想定 (完全招待制／招待70名)

参加対象：

大手企業のエグゼクティブ層
(取締役、執行役員、
事業部門長クラス)

開催にあたって

ダイヤモンドクォーターリー（DQ）は、おかげさまで**創刊10周年**を迎えます。感謝の意を込めて、記念イベントを開催いたします。

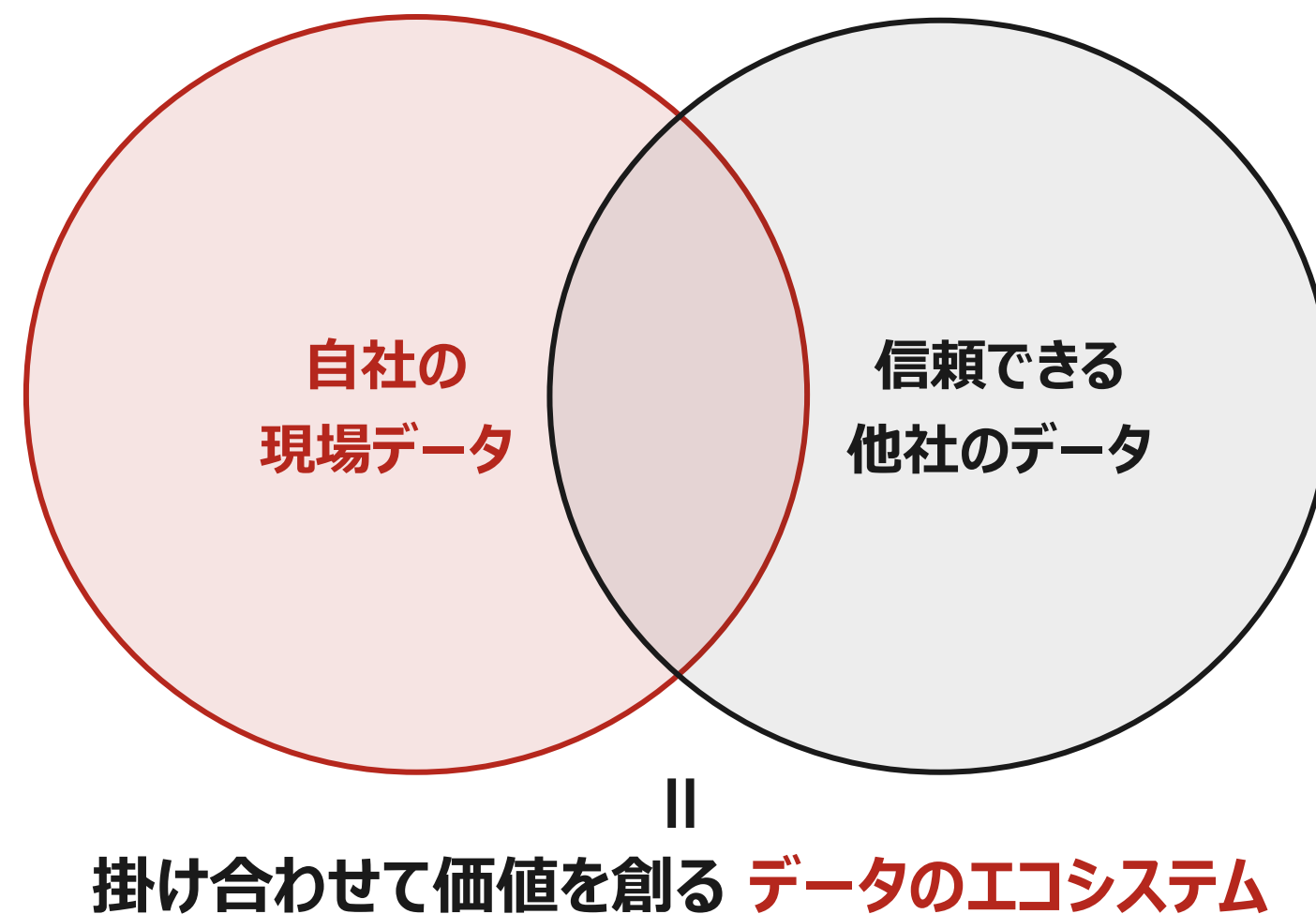
今回掲げるテーマは、「**日本のモノづくり AI×データで勝ち抜けるか**」です。モノづくりデータを掛け合わせて勝ち抜く時代を見据え、どうすれば日本の製造業が「戦略的不可欠性」を獲得し、復権できるのか。その旗印が「**メイド・ウィズ・ジャパン**」です。エクセレントカンパニーのエグゼクティブとともに、対話型セッションで日本製造業の新戦略を議論します。

デジタルの時代だからこそ、DQは良質なリアルの場づくりにこだわり続けます。

ダイヤモンドクォーターリー編集長 宮田和美

企画の背景：始まった「モノづくりデータの戦国時代」

自社のデータだけでは、新たな価値は生まれません。求められるのは「**自前主義からの脱却**」。信頼できる企業同士がデータを掛け合わせて価値を創る「**データのコラボレーション**」「**データから日本ならではのコンテクストを生み出すエコシステム**」が、日本の新たなモノづくりの競争戦略となります。かつて否定された「系列」も、「**データの系列化**」としてとらえ直せば、日本ならではの強みに転換しうる。単なるデータ利活用のフェーズはすでに終わり、業種を超えてデータを奪い合い、掛け合わせて勝ち抜く時代、いわば「**モノづくりデータの戦国時代**」が始まっています。



◎ キーワード

フィジカルAI

モノづくりデータ（現場データ）

データのエコシステム

自前主義からの脱却

データの系列化

データのコラボレーション

オープン＆クローズ戦略

AI人材育成

データ戦略

テーマの意図：なぜいま「メイド・ウィズ・ジャパン」なのか



戦略的自律性 = 国が担う

揺らぐ経済安全保障環境の中で、他国に依存しない基盤を確保する
国家戦略。

戦略的不可欠性 = 企業が担う

世界にとって「なくてはならない存在」になること。これが日本製造業復権
のカギを握る。

「戦略的不可欠性」の獲得が、日本製造業の復権のカギを握る

事例：すでに始まっている「メイド・ウィズ・ジャパン」の動き

①国産AI基盤「Noetra」：44社連合で“ものづくりの頭脳”を共同開発

2026年7月、ソフトバンク・ソニー・NEC・ホンダなど44社が出資する新会社が発足し、国も最大1兆円で支援。各社が持ち寄る現場データと活用事例を基盤モデルに結集し、工場やロボットの自律化を担う「頭脳」を育てます。NVIDIAのファンCEOも日本の現場の知恵を「国の宝」と評しました。

②コマツ：「産業アーキテクト」としてデータエコシステムを構築

KOMTRAX以来蓄積してきた建機の稼働データを軸に、顧客・協力企業のデータを掛け合わせ、施工現場全体の価値創出構造を設計。「技術の競争」から「価値創出構造の設計の競争」へというフェーズ転換を体現しています。

③富士通×ファナック×安川電機×川崎重工／日立×NVIDIA：フィジカルAIで企業横断のデータ結集

2026年7月、富士通とロボット大手3社が製造・物流などの現場データを持ち寄るフィジカルAI基盤の構築を発表しました。3社は経産省・NEDO事業でロボット用の基盤データセットも整備しています。日立もNVIDIAと組み、複数メーカーの設備を統合制御する「現場全体の自律化」へと動いています。

④国策として動き出したデータ連携基盤：GENIAC ※注1「製造AX拠点」／ウラノス・エコシステム ※注2

GENIACでは産総研が全国の工場の稼働・品質データを集約する「製造AX拠点」を構築しています（DMG森精機と約100社・1,000台のデータ収集、コマツとAI生産スケジューラー開発）。経産省主導のウラノス・エコシステムには自動車・蓄電池など60社超が参画し、CFP・トレーサビリティのデータ連携が稼働しています。

※注1 GENIAC：経済産業省とNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）が2024年2月に立ち上げた、国内の生成AI開発力を抜本的に強化するための国家プロジェクト

※注2 ウラノス・エコシステム：経済産業省や独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が推進する、業界や国境の垣根を越えて企業間で安全にデータを連携・共有するための産業横断型の基盤構想

⑤国境を越えるデータのエコシステム：ウラノス×Catena-X

2025年3月、日本のウラノス・エコシステムと欧州自動車業界のCatena-Xがバッテリーのカーボンフットプリントデータの交換に成功しました（富士通・SAP・BASFなどが参加）。互いのルールと主権を保ったまま国境を越えてデータを掛け合わせる、「メイド・ウィズ・ジャパン」の典型的事例といえます。

※上記の事例は、掲載企業の登壇を約束するものではありません。

基調講演：テーマ／登壇者イメージ

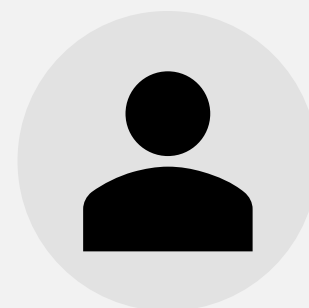
基調対談

世界にとってなくてはならない存在になる 「メイド・ウィズ・ジャパン」への超進化^(仮)



藤本隆宏 先生

東京理科大学大学院
経営学研究科 技術経営専攻
上席特任教授



製造業リーディングカンパニーの経営者

※データエコシステム／フィジカルAIを実践する企業の経営者を想定

◎ 想定される参加者の課題感

モノづくりでの生成AI／フィジカルAIの活用

生成AI活用のためのデータ整備（何を学習させるか）

データ戦略の策定

AI人材の育成

本イベントの特徴：参加者巻き込み型のプログラム

①事前質問の募集

お申し込み時・参加確定時に、参加者から「登壇者に聞きたいこと」を事前に募集。当日は寄せられた問いをスライドで提示し、ラップアップセッションの題材にします。当日の質問も受け付け、事前質問と組み合わせてライブ感を演出します。

テーマ：人づくり / モノづくり / 仕組みづくり

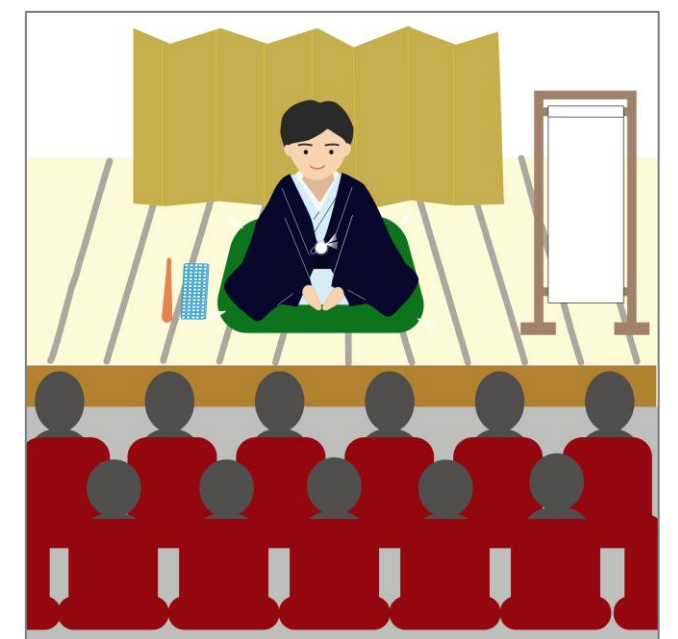
②何でもQ&A（懇親会内ラップアップセッション）

懇親会の冒頭、参加者からの質問タイムを設定します。ドリンク片手のラフな雰囲気、基調登壇者と協賛企業登壇者の方々に回答いただきます。編集長がモデレーターを務め、**協賛企業にも必ず質問を振ることで、参加者との名刺交換・交流の接点をつくります。**

③特別プログラム：落語

「日本的経営の再発明」をパーパスに掲げるDQは、企業が「日本ならではのコンテキスト」を生み出すことこそが勝ち筋になると考え、コンテンツ発信をしています。DQのイベントではそのコンテンツの重要な要素として、日本の伝統芸能から学ぶプログラムを実施しています。今回は「落語」です。

当日のセミナー内容を枕に織り込み、テーマから想起した演目を上演。落語は独立したプログラムとして楽しんでもいただき、共通の体験を話題に懇親会・ネットワーキングへつなげます。



イベント開催概要

- ◎ 名 称 ダイヤモンドクォーター 創刊**10**周年記念 エグゼクティブ・セミナー
- ◎ テ ー マ AI×データで勝ち抜く日本のモノづくり ――世界にとってなくてはならない存在になる「メイド・ウィズ・ジャパン」への超進化（仮）
- ◎ 主 催 ダイヤモンド社 ブランディング事業局
- ◎ 日 程 2027年3月中旬開催（予定）
- ◎ 形 式 リアル開催限定（オンライン配信の予定はありません）
- ◎ 会 場 東京會舘「ロイヤル」（東京・丸の内）
- ◎ 対 象 大手企業のエグゼクティブ層（取締役、執行役員、事業部門長クラス）
参加者数：50名想定〔完全招待制／要事前登録〕 申込者数：70名程度を想定
- ◎ 参 加 費 無料
- ◎ プログラム 次ページの通り

※歩留まり（参加率）は8割程度を想定し、当日50名の参加を目標とします。
※状況により、プログラム構成または時間が前後する可能性があります。
※当企画は2社以上のご協賛をもって成立いたします。あらかじめご了承ください。

プログラム構成（案）

13:00 – 13:05 主催者挨拶（5分）

13:05 – 13:45 基調対談（40分） 藤本隆宏 先生 × 製造業リーディングカンパニー（経営者）

13:45 – 14:05 協賛講演①（20分）

14:05 – 14:25 協賛講演②（20分）

14:25 – 14:40 コーヒーブレイク（15分）

14:40 – 15:00 協賛講演③（20分）

15:00 – 15:20 協賛講演④（20分）

15:20 – 15:50 特別寄席（落語）（30分） ※テーマに通底した演目で講演内容の理解を促し、懇親会への期待感を創出（出演者調整中）

15:50 – 16:10 懇親会 前半：ラップアップ「何でもQ&A」（20分） ※登壇者全員に対する受講者からの本音の質問タイム

16:10 – 16:50 懇親会 後半：ネットワーキング・名刺交換会／閉会挨拶（40分）

協賛枠・料金

◎ 協賛金額

協賛講演①②③④ **3,500,000円** (税別)

◎ 協賛特典

- ▶ 協賛講演枠でのプレゼンテーション（20分間） ※講演中に資料の掲示やデモの実施などが可能です。
- ▶ 申込者リスト（登録者属性）の提供
- ▶ 実施報告書(当日のアンケート含む) の提供

◎ オプション

採録タイアップ記事の制作 **2,500,000円** (税別)

※「DQオンライン」への掲載、10,000PV保証付き

※貴社（協賛）パートの内容のみとなります。

◎ 請負内容

（１）企画／運営

- ▶ イベント企画・コンテンツ作成・進行管理
- ▶ 登壇者ブッキング・講演内容プロデュース
- ▶ 当日の運営・進行

（２）告知／集客企画

- ▶ 告知ページ、登録フォームの作成
- ▶ 招待状の作成、リスト管理、発送
- ▶ 申込者への事前サポート

（３）イベントレポート

- ▶ 「DQオンライン」でのイベント全体レポートの作成・掲載

※個社レポートはオプションとなります。

スケジュール

◎ **申込締切** **2026年11月30日（月）**

※協賛講演枠が埋まり次第、終了となります。

◎ **素材締切** **2026年12月中頃（予定）**

※ご登壇者のプロフィール／ご講演タイトルの提供をお願いします。
※雛形をお送りしますので、ご入力のうえご提出いただきます。

◎ **開催前のスケジュール**

- ▶ 告知ページ公開： **2027年1月中旬（予定）**
- ▶ 開催日 ： **2027年3月中旬**

◎ **開催後のスケジュール**

- ▶ 参加者リストのご提供 ： **開催日の2営業日後**
- ▶ 実施レポートのご提出 ： **開催日の5営業日後**
- ▶ イベント採録記事公開 ： **2027年4月末（予定）**

創刊9周年記念フォーラム

LP : <https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum9/>

**ダイヤモンドクォーターリー創刊9周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか**

150兆円市場 GXで超成長する

概要・タイムテーブル

日時	2026年3月18日（水） 13：00～18：00
名称	ダイヤモンドクォーターリー創刊9周年記念イベント
テーマ	日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか 150兆円市場 GXで超成長する
主催	ダイヤモンド社 メディア局
企画	ダイヤモンドクォーターリー編集部
協賛	アビームコンサルティング、アーサー・ディ・リトル・ジャパン、 アスエネ
会場	TODA ホール&カンファレンス東京
定員	50名様（招待制／要事前登録）申込者数：48名、参加者数：38名
参加費	無料
13:05-	◆基調講演 待ったなしのGX時代に向けて 大乱世を生き抜くビジネスモデルとは 産学連携推進機構 理事長 妹尾堅一郎 氏
14:05-	◆協賛講演① マテリアリティマネジメントが導く事業成長戦略 ー GXトランジション期に求められるKPIとナラティブ アビームコンサルティング サプライチェーン・サステナビリティ戦略ユニット プリンシパル 豊嶋修平 氏

14:35-	◆協賛講演② 移行期のGXを企業価値に変換する「戦略コア」の設計と活かし方 アーサー・ディ・リトル・ジャパン エネルギー・ユティリティ・プラクティス プリンシパル 宇野暁紀 氏
15:05-	◇コーヒープレイク (休憩)
15:20-	◆協賛講演③ 世界を牽引する「攻め」のGX成長戦略を実装するために —SSBJ基準が迫る経営判断の合理化と、AI時代の「守り」の開示対応— アスエネヴェリタス 取締役CCO 小池心平 氏
15:50-	◆クロストークセッション 日本流GXの勝ち筋はどこにあるか 妹尾堅一郎 氏／豊嶋修平 氏／宇野暁紀 氏／小池心平 氏 宮田和美 (モデレーター)
17:00-	◆懇親会／ネットワーキング

DIAMONDD

Quarterly

ダイヤモンドクォーター
創刊9周年記念イベント

日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか

150兆円市場 GXで超成長する

トランスフォーメーション戦略

2026
3/18水

13:00~18:00
TODAホール東
カンパシンス東京(東京・有明)

50名 招待制
※先着順
(対象:大手企業の経営者・役員)

お申し込みはこちら▶

申込締切：2026年3月13日（木）12:00まで

日時	2026年3月18日（水）13:00-18:00（12:30より開場予定）
名称	ダイヤモンドクォーター創刊9周年記念イベント
テーマ	日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか 150兆円市場 GXで超成長する
対象	大企業層のエグゼクティブ層（取締役、執行役員、事業部長門外）
定員	50名様（招待制／要事前登録）
参加費	無料
主催	ダイヤモンド社・メディア屋
協賛	デビューコンサルティング、アーサー・ディ・リトル・ジャパン、アスエル
会場	TODAホール&カンパシンス東京（東京都中央区新富1-3-4 TODA BUILDING 4階） 

いすのビジネスモデルで「脱炭素&循環経済」の未来を生き抜けるのか？

日本企業の本格的なトランスフォームが始まる

世界初のトランジション関連、カーボンポジティブングをはじめ、率先挙げて取り組むGXプロジェクトが本報連載。
官民投資による再稼働率は10年間で150億円ともいわれる中、あらゆる産業に波及するGXの核心とは。

ビジネスモデル研究の第一人者と考える「対話型セッション」

監訳講演

**待たなしのGX時代に向けて
大乱世を生き抜くビジネスモデルとは（仮）**



妹尾堅一郎 氏

元平井清成社長兼 専務理事

慶応義塾大学経済学部教授。慶応義塾大学NPO法人環境ナショナルカレッジアジアズ事務局長。東京工科大学副学長。同校学生支援センター副理事長。東京大学大学院政策・メディア研究センター特任教授。慶応大学特別客員教授。MBA 両資格の持ち主。青山学院大学客員、お茶の水女子大学客員教授など多数。多くの大学・研究所で特別顧問を務める。国立高度専門学校の設立に関与した人物。上り金融家やムラサキグループの代表として、イメージ・シンキングで知られており、新事業創造の推進を行っている。日本を舞台とする「国際経営を志向したビジネス研究」を得意とし、そのほか海外での講演活動も積極的。数々の学会で研究発表の機会を得る。著書は、15冊以上あるほか、不定期連載されている『デジタル・エコノミー』、『2025年、日本はどの道へ進むのか』などの書籍がある。

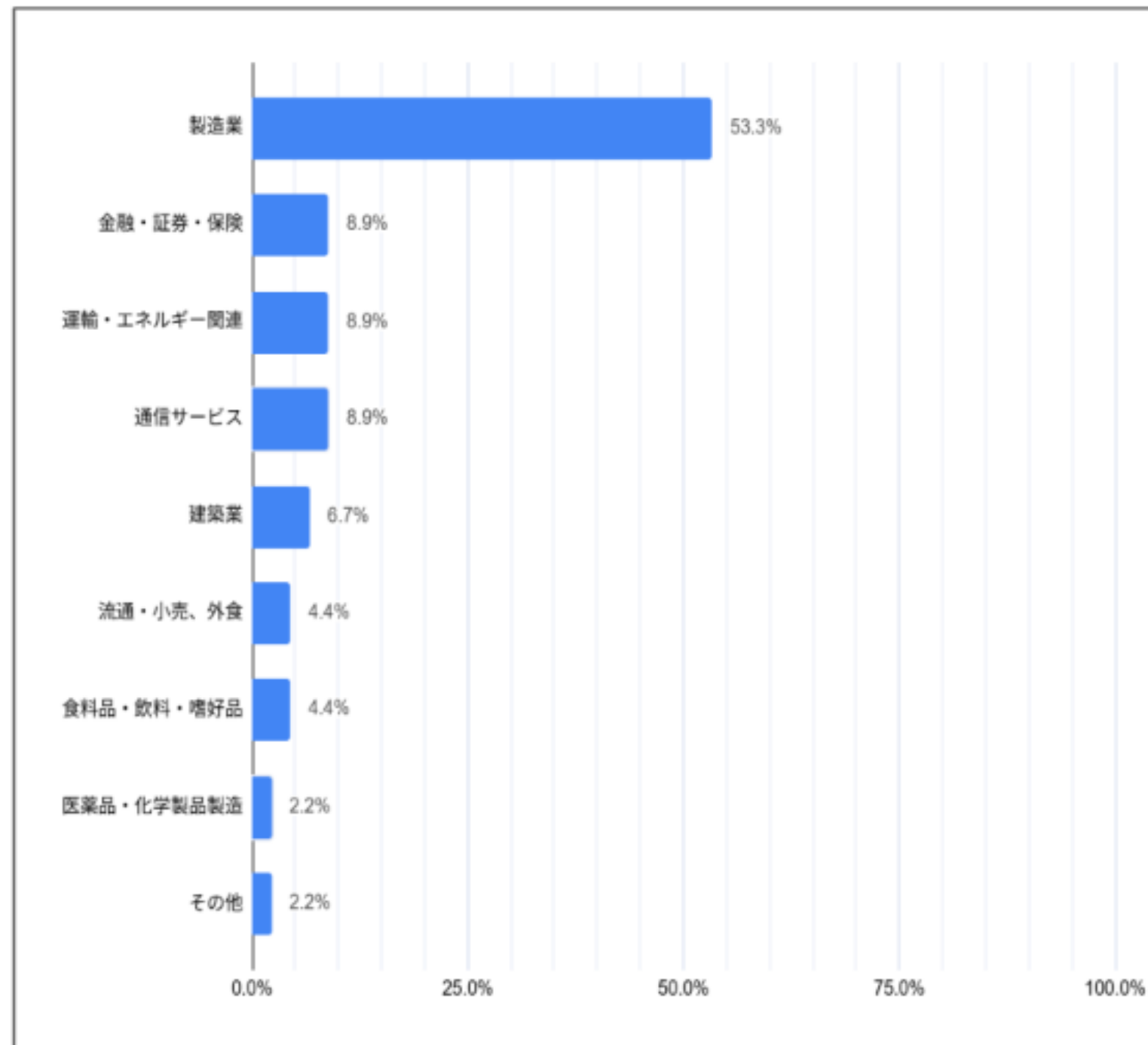
開催実績

創刊9周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

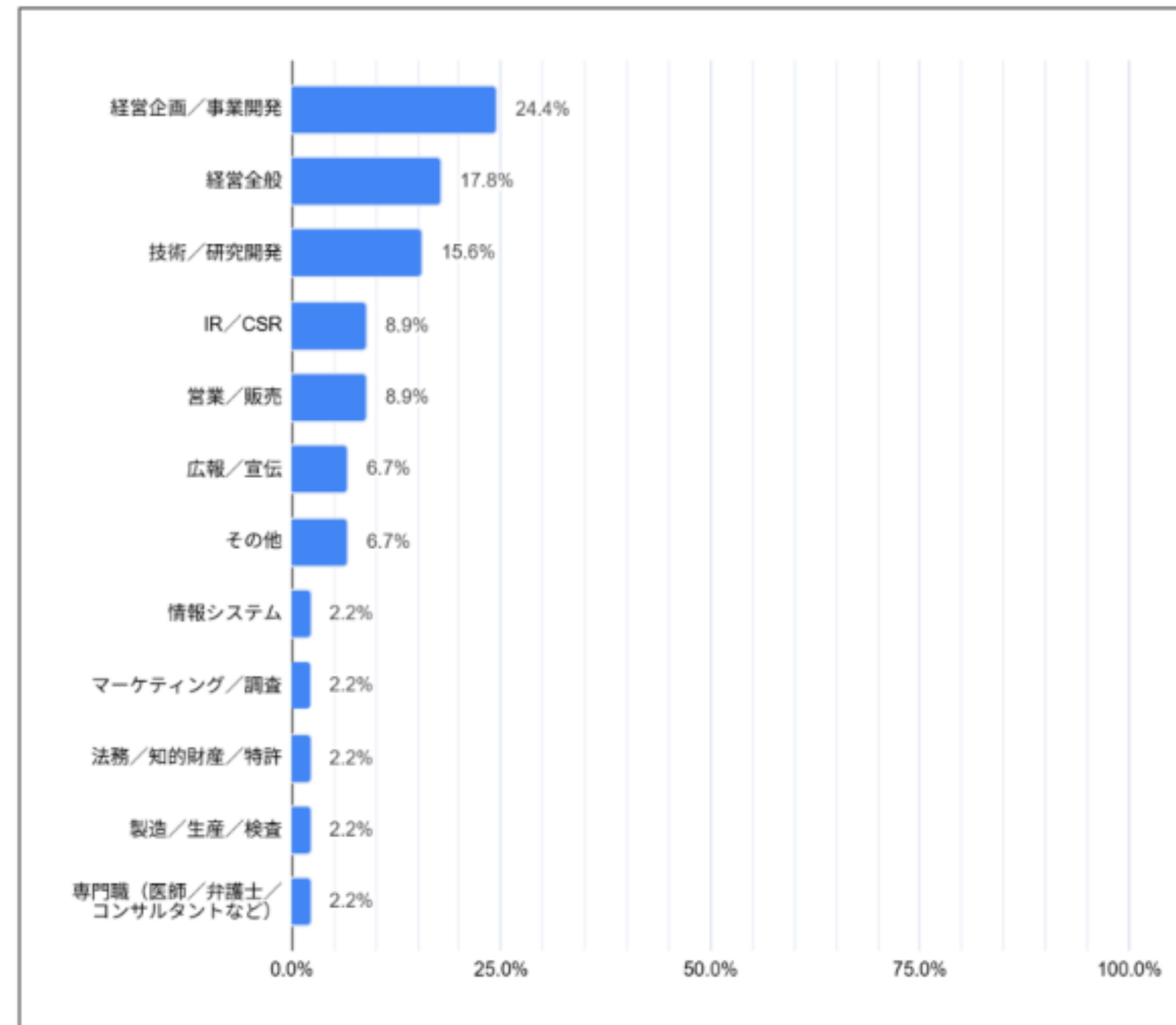
ダイヤモンドクォーター創刊9周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか 150兆円市場 GXで超成長する

登録者属性

【業種】



【職種】



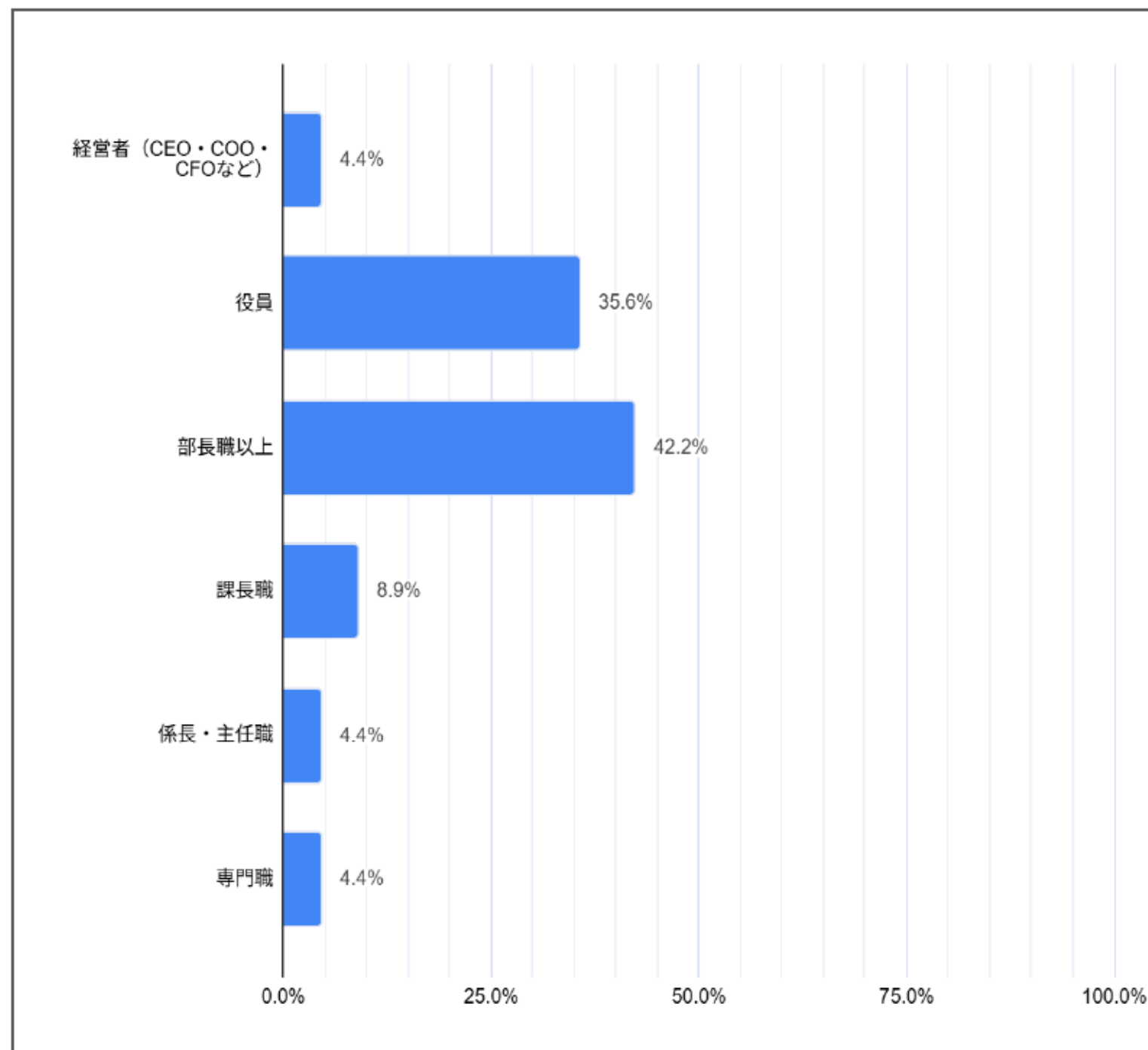
開催実績

創刊9周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

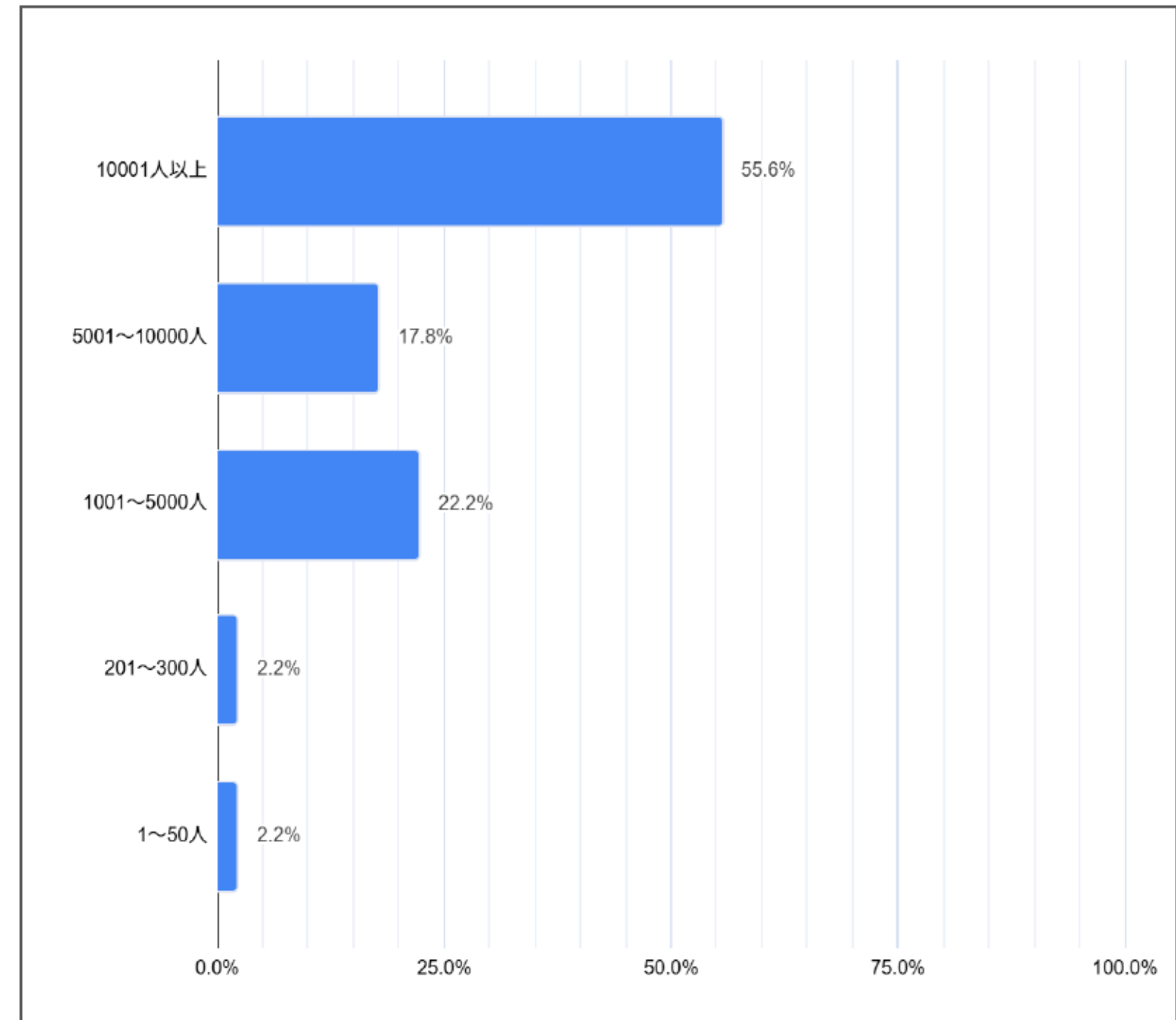
ダイヤモンドクォーター創刊9周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか 150兆円市場 GXで超成長する

登録者属性

【役職】



【従業員数】



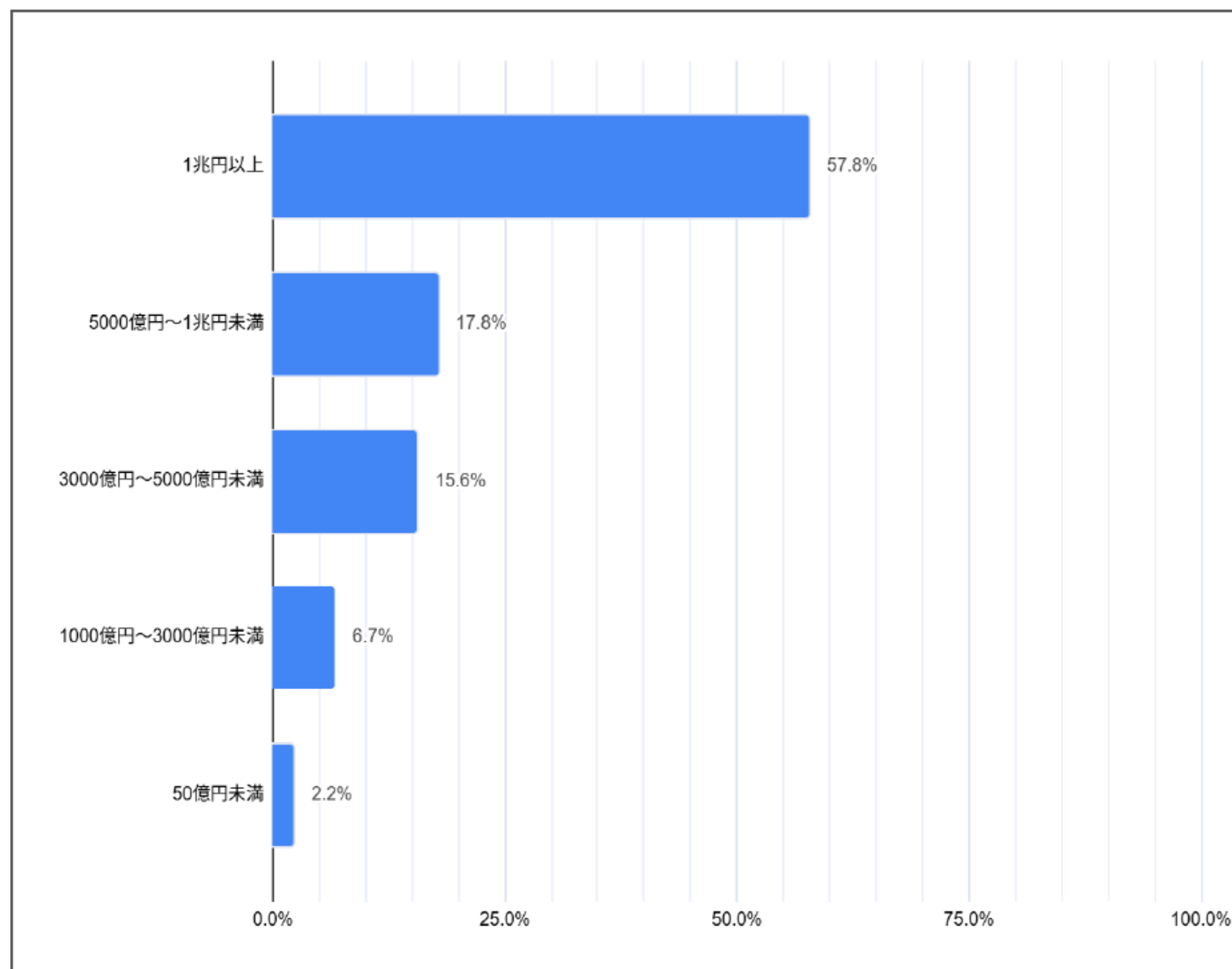
開催実績

創刊9周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォーター創刊9周年記念イベント
日本の強み「トランジション」で世界を牽引できるか 150兆円市場 GXで超成長する

登録者属性

【売上規模】



開催実績

創刊8周年記念フォーラム

LP : <https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum8/?view=1>

ダイヤモンドクォーターリー 創刊8周年記念フォーラム 乱世を生き抜くための シン日本流経営

概要・タイムテーブル

日時	2025年2月17日(月)13:30~18:00
名称	ダイヤモンドクォーターリー創刊8周年記念フォーラム
テーマ	乱世を生き抜くためのシン日本流経営 ~「ダイナミックな変革」と「独自の価値創造」で新たな成長ステージを切り拓く
主催	ダイヤモンド社 メディア局
企画	ダイヤモンドクォーターリー編集部
協賛	Ridgelinez、ヤプリー、Wolters Kluwer CCH Tagetik
会場	大手町三井ホール
定員	会場200名+ライブ配信400名
参加費	無料

13:30-	◇基調講演 トランプ再来で世界はどう変わるか。企業版「経済安全保障」の論点 鈴木一人 氏 東京大学公共政策大学院 教授 国際文化会館 地経学研究所長
14:15-	◇協賛講演 不確実性の時代を勝ち抜く サプライチェーンの強靱化 赤荻健仁 氏 Ridgelinez 上席執行役員Partner; Manufacturing, Engineering & Construction Practice Leader

14:45-	◇協賛講演 経営の想いと情報浸透がもたらす、 組織と従業員エンゲージメント最大化 古屋陽介 氏 ヤプリー 事業推進室 EXプロジェクトリーダー
15:15-	◇コーヒープレイク(休憩)
15:30-	◇基調対談 強みを再編集し、成長ダイナミズムを取り戻す「シン日本流経営」 名和高司 氏 京都先端科学大学 教授 一橋ビジネススクール 客員教授 澤田 純 氏 日本電信電話(NTT) 取締役会長
16:20-	◇協賛講演 経営管理基盤が支えるシン日本流経営 ~データ活用による意思決定の革新~ 箕輪久美子 氏 Wolters Kluwer CCH Tagetik 日本代表/日本マネージングディレクター 久保誠一 氏 Wolters Kluwer CCH Tagetik ソリューション&サービス事業本部 執行役員 本部長
16:50-	◇ラップアップセッション&交流会

創刊8周年記念フォーラム

乱世を生き抜くための
シン日本流経営
「ダイナミックな変革」と「独自の価値創造」で新たな成長ステージを切り拓く

2025 2/17 月 13:30~18:00 大手町三井ホール
会場200名+ライブ配信400名 **受講者募集**

お申し込みはこちら▶

申込締切: 2025年2月12日 (木) 12:00まで

※概要

日時

2025年2月17日(月) 13:30~18:00 (12:00より開場予定)
※ライブ配信開始時刻は、15:00より視聴可能となります。詳細はHPでご確認ください。

名称

ダイヤモンドクォーターリー創刊8周年記念フォーラム

テーマ

乱世を生き抜くためのシン日本流経営 ~「ダイナミックな変革」と「独自の価値創造」で新たな成長ステージを切り拓く

会場

会場200名+ライブ配信400名

主催

編刊(東京書籍社/協賛)

企画

ダイヤモンド社 メディア局

協賛

ダイヤモンドクォーターリー編集部
Ridgelinez、ヤプリー、Wolters Kluwer CCH Tagetik

会場

大手町三井ホール
東京都千代田区千代田1-2-1 Otumachi One 3F


激変する世界の中で、日本はどう存在感を示していくのか?

※登壇者紹介

基調講演

トランプ再来で世界はどう変わるか。
企業版「経済安全保障」の論点

 鈴木一人 氏
東京大学公共政策大学院 教授
国際文化会館 地経学研究所長
企業版「経済安全保障」の論点

基調対談

強みを再編集し、成長ダイナミズムを取り戻す
「シン日本流経営」

 名和高司 氏
京都先端科学大学 教授
一橋ビジネススクール 客員教授
名和高司 氏
京都先端科学大学 教授
一橋ビジネススクール 客員教授
企業版「経済安全保障」の論点

協賛講演

不確実性の時代を勝ち抜く サプライチェーンの強靱化

 赤荻健仁 氏
Ridgelinez
上席執行役員Partner;
Manufacturing, Engineering & Construction Practice Leader
不確実性の時代を勝ち抜く サプライチェーンの強靱化

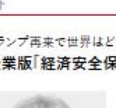
協賛講演

経営管理基盤が支えるシン日本流経営
~データ活用による意思決定の革新~

 箕輪久美子 氏
Wolters Kluwer CCH Tagetik
日本代表/日本マネージングディレクター
経営管理基盤が支えるシン日本流経営
~データ活用による意思決定の革新~

協賛講演

経営の想いと情報浸透がもたらす、
組織と従業員エンゲージメント最大化

 古屋陽介 氏
ヤプリー
事業推進室 EXプロジェクトリーダー
経営の想いと情報浸透がもたらす、
組織と従業員エンゲージメント最大化

ラップアップセッション&交流会

 澤田 純 氏
日本電信電話(NTT)
取締役会長
ラップアップセッション&交流会

開催実績

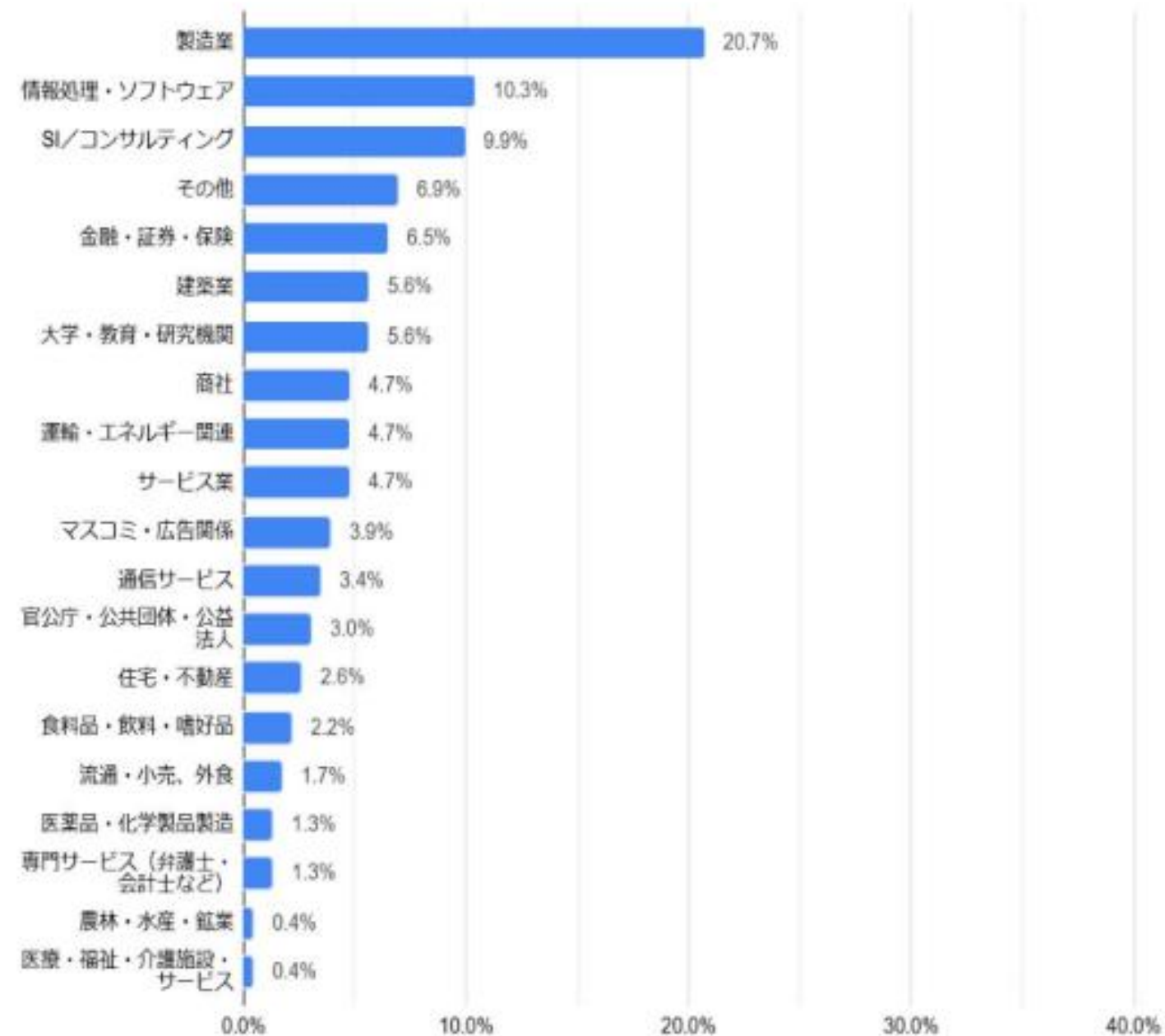
創刊8周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォーター 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：登録者属性

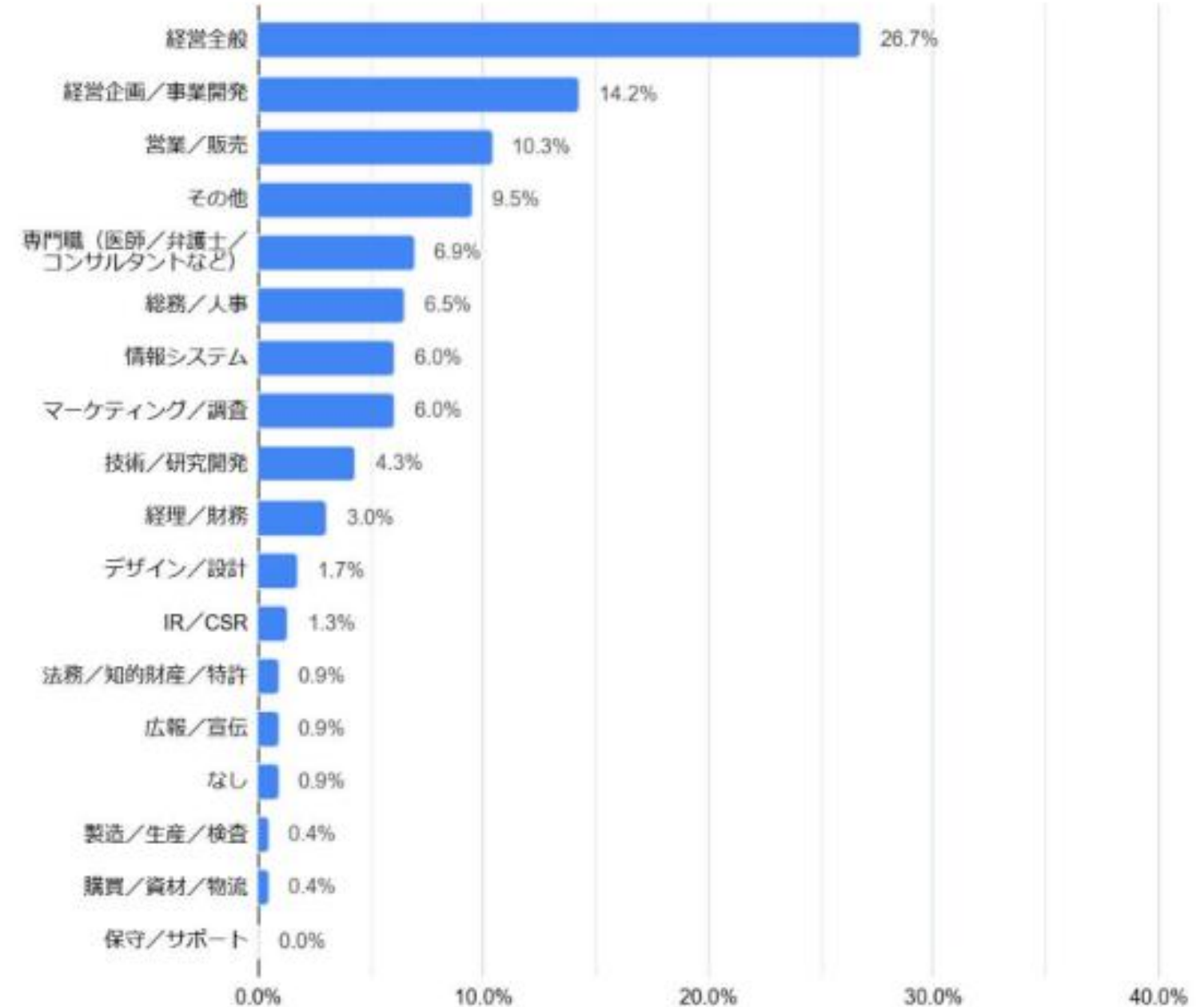
【業種】

N=232



【職種】

N=232



開催実績

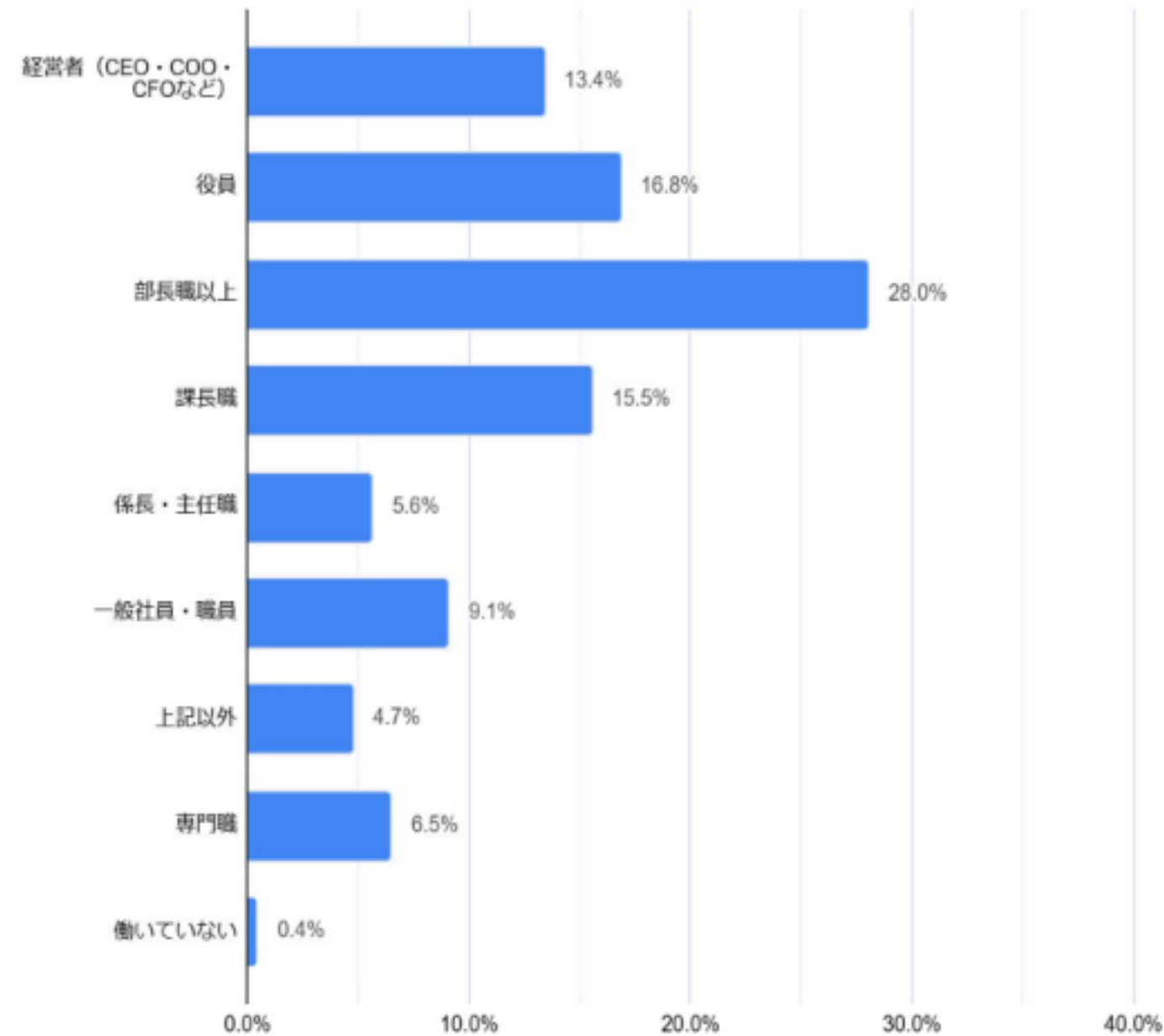
創刊8周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォーター 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：登録者属性

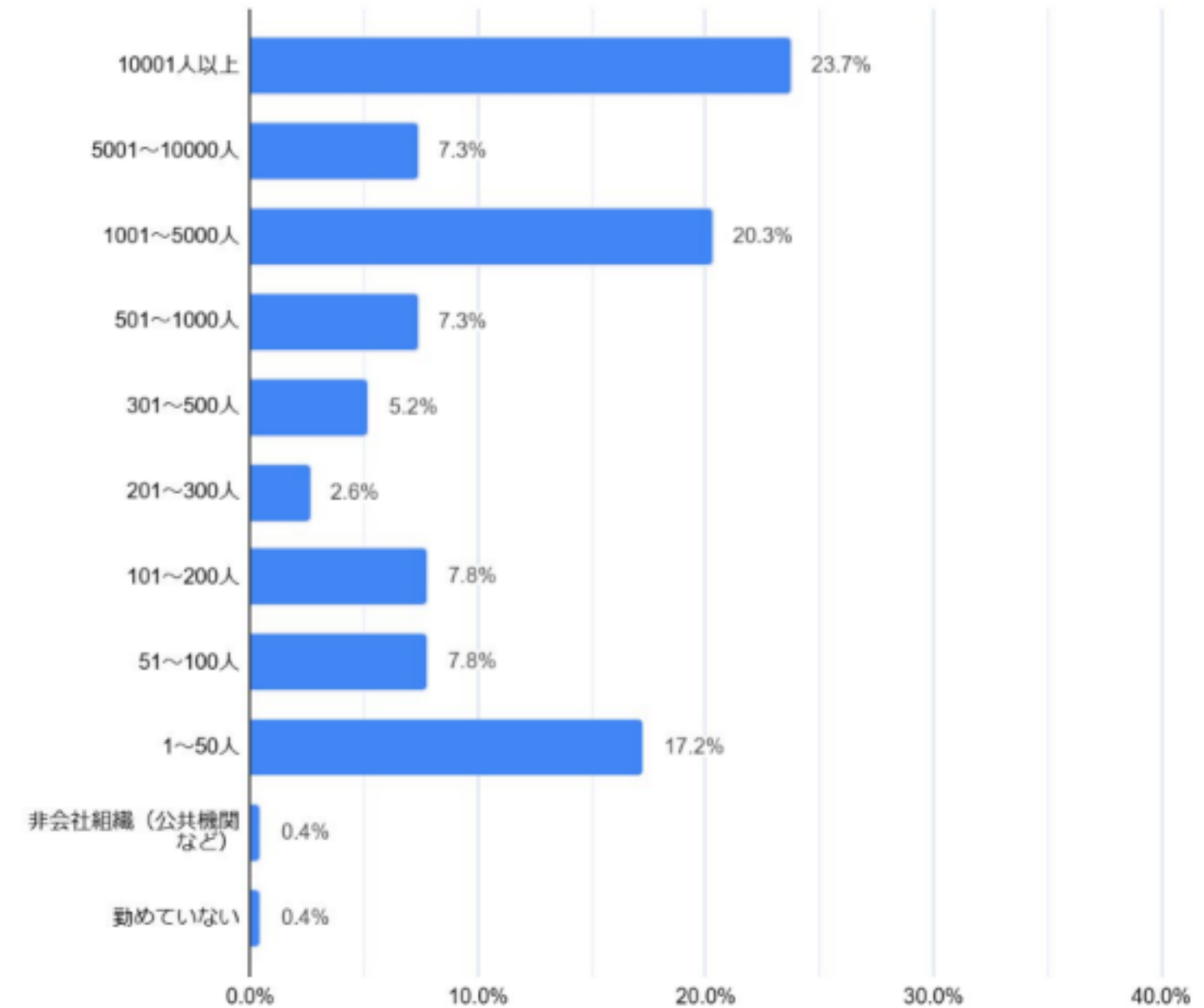
【役職】

N=232



【従業員数】

N=232



開催実績

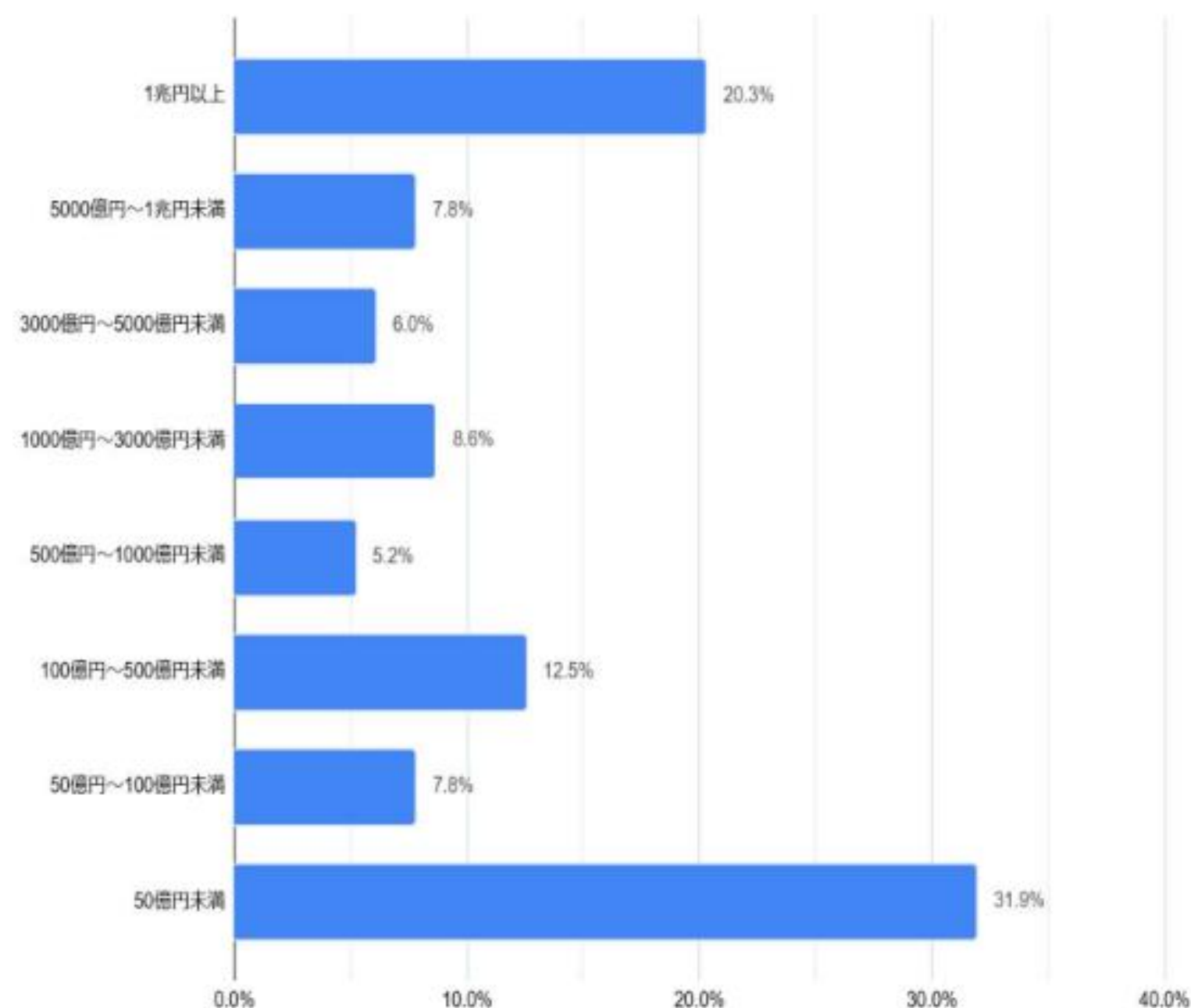
創刊8周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォーター 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：登録者属性

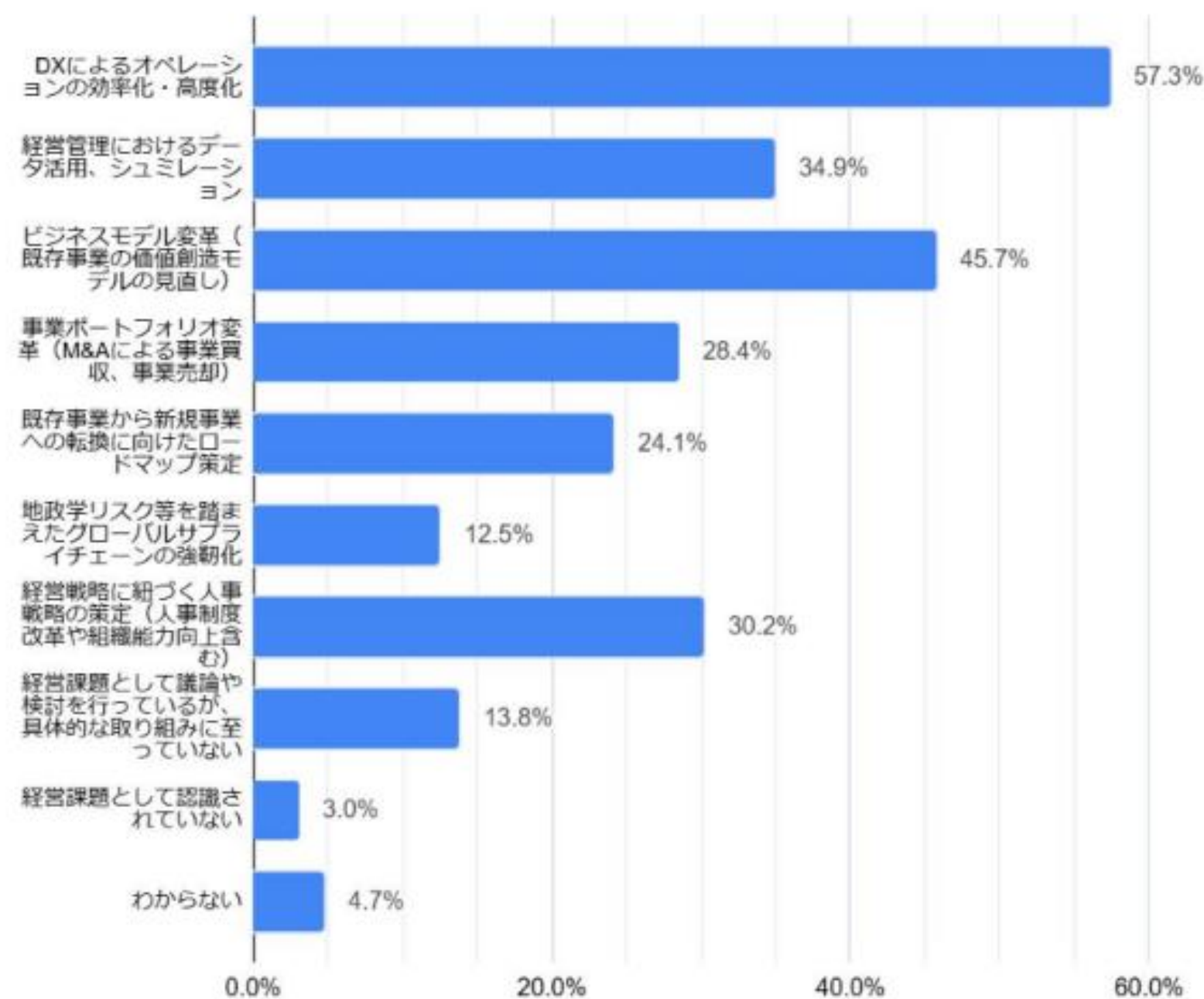
【売上規模】

N=232



あなたの会社では、どのような企業変革に取り組んでいますか
(複数選択可)

N=232



開催実績

創刊8周年記念フォーラム（登録者属性／リアル開催申込者）

ダイヤモンドクォーター 創刊8周年記念フォーラム
乱世を生き抜くための シン日本流経営

会場：参加企業（※抜粋）

AGC	キャノンマーケティングジャパン	千代田区役所	日本製鉄	明電舎
EYストラテジー・アンド・コンサルティング	キャムグローバル (キャムコムグループ)	帝京平成大学	日本ゼオン	ヤマトシテム開発
IHI Aerospace	キャムコム	帝人	日本電気	ユニオンツール
JX Metals Corporation	キューピー	テクノプロ・ホールディングス	日本電信電話	ユニベール
KPPグループホールディングス	共栄火災海上保険	テプコシステムズ	パーソルダイバース	吉野家ホールディングス
NTTデータ	コクヨ	テルモ	長谷工コーポレーション	リクルート
NTTドコモ	佐島電機	東海旅客鉄道	パナソニックコネクト	立教大学
NVC	サントリー食品インターナショナル	東急建設	パナソニックホールディングス	レゾナック
TMJ	三和テッキ	東芝	ビジョン	レンタルシステム
TOPPANエッジ	ジェイテクト	東芝エネルギーシステムズ	ビジョン・コンサルティング	
アフラック生命保険	ジェコス	東武運輸	日立製作所	
アルプスアルパイン	新電元工業	トーヨーケム	富士製薬工業	
安藤・間	住友不動産	豊通ケミプラス	本田技術研究所	
いちよし証券	スミリンフィルケア	日揮ホールディングス	丸紅ロジスティクス	
インターネットイニシアティブ	セイコーソリューションズ	日清食品ホールディングス	三井化学	
エムティーアイ	セコム	日清紡ブレーキ	三井住友海上プライマリー生命保険	
オリックス	全国農業協同組合連合会	日本化薬	三井物産	
オリンパス	損害保険ジャパン	日本経済新聞社	三菱重工業	
カトーレック	高砂熱学工業	日本工業大学大学院	三菱商事ロジスティクス	
かんぽ生命保険	千代田化工建設	日本製紙パピリア	ミライト・ワン	

お問い合わせ先

【お問い合わせ先】

株式会社ダイヤモンド社

ブランディング事業局

DQ広告担当 宛

Email : web_ad@diamond.co.jp